

# こころん だより

2020  
秋号  
Vol. 14



こころん



特集1

新型コロナウイルス感染症防止対策と  
人権への配慮について ～県民のみなさまへのお願い～

文：高知県 危機管理・防災課

特集2

こころんの  
社会見学

“ぷっくりハート”でみんな笑顔に！  
～町ぐるみで取り組む、自尊感情の育み～

# 新型コロナウイルス感染症防止対策と 人権への配慮について ～県民のみなさまへのお願い～

文：高知県 危機管理・防災課

## 感染拡大の状況

令和2年に入って、我々の生活に大変大きな影響をもたらしている「新型コロナウイルス感染症」は、世界中で猛威を振るっており、感染の終息がいつになるか見通せない状況です。

2月には本県で初めての感染が確認され、それ以降は4月下旬にかけて感染の大きな波が訪れました。この間に74名の方が感染して入院治療を受けることになりました。

## 新たな生活様式の実践

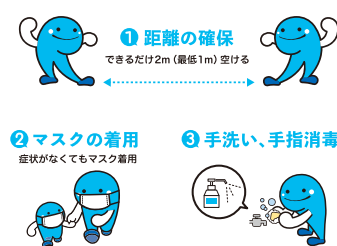
これまで県民の皆さまには、不要不急の外出自粛や他県との往来自粛など感染拡大防止に取り組んでいただいたことで、県内での感染者は4月下旬から7月中旬まで2ヶ月以上確認されませんでした。

しかし、7月に入ってから全国的に感染者が急増するなど、新たな感染の波が訪れていることから、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら生活することが、今後さらに重要となります。

このため、新型コロナウイルスに対するワクチンや特效薬が開発・投薬開始されるまでは、社会経済活動を行いながら感染を防止する「新たな生活様式」の実践が求められています。

この「新たな生活様式」については、右上の「新型コロナウイルス感染症対策について」の中で、大きく3つに分けて記載している通りです。

### 感染防止の3つの基本



### 3密の回避



### 食事時の注意点



新しい生活様式を実践しましょう

新型コロナウイルス  
感染症対策について

一つ目は、感染防止の3つの基本（①人と人との距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや手指の消毒）を行っていただくことです。店舗等の入り口には消毒液が置かれていますので、入店、退店時には消毒をしっかりといただければと思います。

二つ目は、感染リスクが高まる「密集」、「密接」、「密閉」のいわゆる「3密」を避けていただくことです。

三つ目は、会食や宴会などの際には、適切な感染防止対策がとられている店舗を利用いただき、献杯や返杯の回し飲みは避ける、飛沫感染を防ぐため大声でしゃべらない、といったことも重要です。

## コロナ禍での人権問題

現在のところ、新型コロナウイルスに対する有効なワクチンや薬が無いこともあり、感染への不安が増大している中で、感染された方への誹謗中傷や懸命に治療に当たられた医療関係者やそのご家族に対する差別が発生しています。これにより、地域に居づらくなったり、職場に多くの苦情が寄せられて生活や職場の業務に支障が出るなどの深刻な被害がもたらされています。

さらに、SNS等で感染者と思われる個人の情報を拡散する行為や、特定の飲食店等が感染源かのような誤った情報の発信など、不確かな情報で医療機関や

保健所等へ多くの相談や苦情が寄せられ、感染拡大を防ぐ本来の活動の大きな妨げとなっています。

県民の皆さまには、公式発表に基づかない不確かな情報を安易に信用せず、冷静な対応をぜひお願いいたします。

高知県の新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>



▶ この記事に関するお問合せ先

高知県 危機管理・防災課 ☎088-823-9311

## 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口や検査について

相談内容	窓口名称	連絡先	受付時間
発熱、咳など体の健康、予防、医療機関の受診に関すること	新型コロナウイルス健康相談センター	088-823-9300	9:00～21:00 平日・土日祝日
感染された方やそのご家族のメンタルヘルス相談に関すること	県立精神保健福祉センター	088-821-4966	8:30～17:15 月曜日～金曜日 (年末年始・祝祭日を除く)
中小企業者の事業資金等の相談に関することは	経営相談窓口	088-823-9697	8:30～17:15 平日・土日祝日
その他の相談に関すること	新型コロナウイルス問い合わせ窓口	088-823-9024	8:30～21:00 月曜日～金曜日 (年末年始・祝祭日を除く)

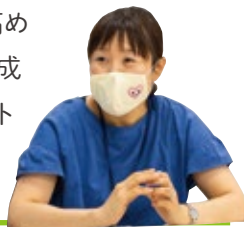


感染された方や医療関係者とその家族等に対する誹謗、中傷、差別は絶対にしないでください。



# こころんの社会見学 “ぷっくりハート”でみんな笑顔に！ ～町ぐるみで取り組む、自尊感情の育み～

ありのままの自分を受け入れ、他者をも大切に思える気持ち「自尊感情」を高めよう！いの町では、自尊感情が高まった状態を「ぷっくりハート」と名付け、平成28年度より自尊感情を高める取り組みを行っています。この春誕生したマスコットキャラクター「ぷっくりハートちゃん」に、こころんが会いに行ってきました。



◀ お話してくれた人  
高知県の町 教育委員会事務局  
菊池学園 主任 池 佐智 さん



▲ 菊池先生の授業では、お互いの考えに耳を傾け、みんなで答えを見つけます。  
◀ 認定こども園だかわの夏祭りごっこの様子。愛らしいぷっくりハートちゃんの登場に、笑顔いっぱいの子どもたち。

## 5年目を迎える「菊池学園」事業 子どもも大人も「ぷっくりハート」に

いの町は、教育を核とする地方創生に取り組んでいます。子どもたちの自尊感情を育み、コミュニケーション能力を高めるために、平成28年度から教育実践研究家の菊池省三先生を町の教育特使にお迎えして、「いの町 菊池学園」事業をスタート。子どもたちは、相手のよい所を見つけて言葉にして伝える「ほめ言葉のシャワー」を日々実践することにより、自己有用感を高めながら、相手をも大切に思う「ぷっくりハート」が育っています。

教育現場だけでなく、町民講座や介護事業所の勉強会などでも菊池先生の講演を開催し、町全体で心育てを行っており、少しずつ実践の輪が広がってきました。

## まちの人たちに愛されるキャラクター 「ぷっくりハートちゃん」が誕生！

町民のみなさんに、ぷっくりハートの大切さをより認知・理解してもらうために生まれたのが、「ぷっくりハートちゃん」のマスコットキャラクターです。自分を愛し、人を大切に思う心のシンボルとして、ハートの形をモチーフにしました。

さらに、町民みんなが楽しめる体操もでき上がりました。音楽は、いの町観光大使でもあるフラチナリズムボーカルのモリナオフミさんに依頼。歌詞には、おじいちゃん・おばあちゃん世代と孫世代のお互いへの温かい思いを織り込んでいただきました。振り付けは、町内の保育士4名が考え、子どもさんから高齢者まで一緒に楽しく体を動かせる体操が完成しました。

## 夏祭りごっこに参加して、 子どもたちと元気に体操

ぷっくりハートちゃんは、7月に認定こども園だかわで行われた「夏祭りごっこ」に登場。「かわいい！」と歓声を上げる子どもたちと一緒に「ぷっくりハート体操」を楽しみ、園内に笑顔があふれました。

アップテンポで楽しく踊れる「ぷっくりハート体操」は、いの町が推進する「ひざ裏のばしストレッチ」の要素を取り入れており、高齢者の健康促進の面でも活用が期待されています。またイスに座ったままできるバージョンも考案されており、誰でも参加できるのが特徴です。

すでに「運動会に来てほしい」「イベントで踊ってほしい」という依頼も殺到しています。ぷっくりハートちゃんに会う人が温かい気持ちになり、それが周囲の人に伝わっていくことを願っています。

## 自尊感情は生きる力の基礎

豊かな心と健やかな体を育む「ぷっくりハート育成推進事業」は、全国初の自治体として進める教育改革です。いの町は、目指す教育の姿を「豊かな対話を通して学び続ける子ども」と設定しており、そのために、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業」に力を入れています。これからの教育は、自分の思いを伝えること、対話しながら新しい発見をすることが大切で、安心して自分の意見が言える学級にこそ学びがあると考えています。子どもたちの自尊感情を高め、コミュニケーション能力を向上させることが、そのベースになります。

みんなを大切に思う心は数値では測れませんが、「ぷっくりハート」を形にできたことで、いの町に文化として浸透していくことを期待しています。日頃から自尊感情を育み合い、子どもたちがここで大切にされて育ったという実感を持って大人になり、それをまた次の世代に伝えていく、よい循環につなげたいですね。



◀ 4月1日、いの町より  
「ぷっくりハート応援大使」  
に任命されました



## 発見こころん

### 心も体も元気になる、「ぷっくりハート」

歌詞には、気持ちを伝える素敵な言葉がたくさん散りばめられています

(歌詞抜粋)

♪ そんな僕らを いつも見守ってくれる 優しいじいちゃん ばあちゃん  
しわの数ほど物知り 何でも知ってる 図書館みたいだね♪

♪ 好きなこと やりたいこと 夢中になれること 君らしさ見つけてね  
さあ自信もって 胸張って行こうか きっと大丈夫さ♪

♪ ぷっくりハート わあ！元気いっぱい  
パワーくれるよ ほめ言葉のシャワー  
ぷっくりハート ホットあったかい  
ぎゅっとハグして 笑顔 あふれてGO♪

自分も相手も大切にできる人は、  
心がやさしくてしなやかな人。  
「ぷっくりハート」の人だね！

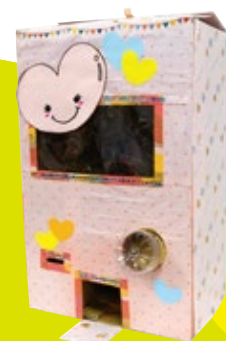


Q. 菊池省三先生って、  
どんな人？

A. 元小学校教員で、学校現場で  
「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」  
「価値語」など独自の実践に取り組ん  
できた教育実践研究家の先生だよ！  
テレビ番組でも紹介されて、  
全国から注目を集めているの。



◀ 最初の試作マスコット



◀ 「菊池学園」の教材  
「価値語」が  
出てくるガチャガチャ

## 高知県の町 教育委員会事務局

所在地：吾川郡いの町1700番地1  
TEL:088-893-1922 FAX:088-893-2121  
E-mail: kyouiku@town.ino.lg.jp  
URL: <http://www.kochinet.ed.jp/ino-t>

「ほめ言葉のシャワーのまち、いの町」 Youtube動画  
よいところを伝え合うほめ言葉のシャワー、お互いに学び合う授業の様子をご覧くださいませ！



いの町役場 本庁舎



## 啓発事業

## 第47回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業を行いました

実施日：令和2年7月13日(月)14時～16時 / 参加者：100名  
 講演 「これからの部落問題～明日へと開かれた人権のために～」  
 講師 角岡 伸彦 氏(フリーライター)  
 会場 高知会館(白鳳)

講演では、

- ・知らないものを怖がる、そこから差別が発生するということがコロナの問題で実感した。
- ・部落問題では差別意識が大分薄らいだから、取り上げる必要がないとよく聞かすが、これは差別をなくしてきたからで、自然に無くなった訳じゃない。差別は無くしてこないと無くならない。
- ・部落問題を一般常識として、知っておくこと、教えることは大事。
- ・差別問題は当事者を無くす問題ではない、当事者は当事者のまま差別を無くすということが反差別運動の基本であるはず。部落差別を無くすということが、部落を無くすことなのかどうかという問題が解決していないから難しいと思っている。
- ・今、インターネット上には部落問題に関する情報が驚くほどたくさん詰まっている、どちらかと言うと悪い情報が、正しくない情報がまことしやかに語られていたりする。それを差別に利用される時代に来ており、どうするかということを考えなければいけない。
- ・「部落問題は自分とは関係ない」と思わない人のことを、私は「部落関係者」だと思っている。
- ・人は差別される側だけでなく差別する側にもなる。部落問題以外にも関心を持って、他の差別も関係ないと思わない人になって差別を考えてほしい。
- ・これからの部落問題をどう考えるかという、皆が「部落関係者」になっていただくことではないかと思っている。そして互いに困ったときには助け合い、色々な関係を広げていくことが大事だと思っている。

といったお話がありました。



## アンケートより

- 無関心が差別の助長になる。「関係者」になることが大切であることを学ばせていただきました。
- 偏見や差別は常にそばにあるし、私も差別をしてしまうと思う。でも、いつもそういう事を考えていきたいと思う。
- 自分のルーツや性自認など、ありのままを言えて、ありのままを互いに認め合える時代がくるように頑張りたい。

## 第1回 ハートフルセミナー



## 映画「グリーンブック」上映会を行いました

実施日：令和2年8月2日(日)13時30分～16時 / 参加者：88名  
 会場：高知県立人権啓発センター6階ホール

人種差別が色濃く残る1960年代のアメリカ南部が舞台。

黒人ジャズピアニストと彼に雇われたイタリア系白人運転手の2人は、8週間にわたってアメリカ南部を初めてまわるコンサートツアー出かける。グリーンブック(黒人専用旅行ガイドブック)を片手にして…。旅を続ける中で友情を深めていく姿を、実話をもとに描いたドラマ。

DVDを「じんけんライブラリー」で貸出しています

## ふりかえりシートより

- 色々と考えさせられるいい映画でした。今も差別が続いていますが、一人一人が理解し合うことが大切だと思いました。
- 良いところ悪いところも相手を認めることが人と人との関係の基本だとつくづく思いました。
- 実話をもとにした映画であるということに救いを感じ、人は変わるのだと強く思った。また観たい。
- 素晴らしい映画をありがとうございました。



10月25日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～

講演会

令和2年度 人権啓発研修 第2回ハートフルセミナー

講演会「子ども虐待のない社会をつくるために  
～叩かない子育てを応援する～」

参加費無料  
定員100名(予約優先)

※定員に達した場合は、受付を締め切る場合がございますのでご了承ください。

講師

こう そ とき こ  
高祖 常子 氏

(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

会場

高知県立人権啓発センター  
6階ホール



## 講師紹介

子育てアドバイザー、キャリアコンサルタント。資格は保育士、幼稚園教諭2種、心理学検定1級ほか。NPO法人ファザーリング・ジャパン理事ほか各NPOの理事や行政の委員も務める。子育て支援を中心とした編集・執筆ほか、全国で講演を行っている。著書は『男の子に厳しいしつけは必要ありません』(KADOKAWA)、『感情的にならない子育て』(かんき出版)ほか。3児の母。

## 追加募集中 令和2年度人権ふれあい支援事業について

当センターでは、高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間の団体等(PTA、町内会、老人クラブなど地域で活動している団体や企業、事業所を含む)が人権意識の向上を目的とした事業を行う場合、その経費の一部を支援しています。

令和2年度は5団体への助成が決定しましたが、  
追加募集を行います。

支援金額：1件当たり上限20万円

支援決定：審査会の審査を経て、10月中旬に通知します。

応募締め切り：9月30日(水)

応募に必要な書類をホームページよりダウンロードしてお送りください。

実施要領や過去の申請団体などはHPに掲載しています。

お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝祭日を除く)  
 TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

## じんけんライブラリー情報

じんけんライブラリーでは、図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)やDVD・VHS、人権啓発パネルの貸出を行っています。



## 新着図書紹介

雑誌『部落解放と大学教育』第33号 全国大学同和教育研究協議会  
 2019年11月2日に高知市で開催されたシンポジウム「土佐における被差別部落の歴史と部落解放運動」(全国大学同和教育研究協議会の秋季企画)の記録を収録。  
 収録：宇賀平「前近代における土佐の部落史」、筒井秀一「土佐における自由民権運動と部落問題」、吉田文茂「戦後高知県の部落解放運動」など。

『認知症でも心は豊かに生きている 認知症になった認知症専門医 長谷川和夫100の言葉』長谷川和夫/著(中央法規出版)

『国籍の？がわかる本 日本人ってだれのこと？外国人ってだれの？』木下理仁/著(太郎次郎社エディタス)

『加害者家族バッシング 世間学から考える』佐藤直樹/著(現代書館)

「じんけんライブラリー検索」はこちら  
 所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。  
<http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/>



## 新着DVD紹介

『シェアしてみたらわかったこと』(46分)  
 企画：東京都教育委員会 制作：東映(株)

東京のどこかにあるシェアハウス。ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下で暮らしている。

【収録テーマ】

- ・外国人に関する人権「外国人、キライですか？」
- ・性自認や性的指向に関する人権「素敵な女性になれると思ってた」
- ・外から見えない障害のある人の人権「わたし、発達障害なのです」
- ・災害時の人権

『こんな夜更けにバナナかよ/いとしき実話』(120分)

筋ジストロフィーにかかりながらも自らの夢や欲に素直に生き、皆に愛され続けた実在の人物・鹿野靖明さんと、彼を支えながらともに生きたボランティアの人々や家族の姿を描いた人間ドラマ。大宅壮一ノンフィクション賞と講談社ノンフィクション賞をダブル受賞した書籍が原作。主演：大泉洋





## 香我美中学校へこころんブック便をお届けしました！

7月、香南市立香我美中学校へ団体図書貸出(こころんブック便)を行いました。学校からの希望テーマ(ハンセン病、高齢者、災害と人権)を中心に50冊を選書し、専用のブックトラックと一緒に持参しました。

担当の先生によると、2週間で17名が本を借りたほか、昼休みに閲覧する生徒も多くいたとのこと。生徒同士で「これおもしろかった!」と教えあったり、先生方にも読んでいただけたそうです。「続編が読みたい」との声もあり、新しい50冊で2学期も団体貸出を継続しています。



テーマ別に選書した本をブックトラックと共に貸出しています

## ご利用案内

出張  
します人権研修のための  
出前講座

講師派遣料無料

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣します。多彩なテーマやプログラムがあります。

貸出  
します「こころん」の  
着ぐるみ・紙芝居

利用無料

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行なっています。

オリジナル紙芝居+パペット ▶



6F

## ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00~21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午 前	午 後	全 日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

● 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円

● 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。



6F ホール

5F

## じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。

ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 9:00~17:00

利用方法 ● 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。  
● 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



## 団体図書貸出(こころんブック便)について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

詳しい情報は  
ホームページを  
ご覧ください!



kochi-jinken.or.jp

4F

## 視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等のにのみ使用できます。

「こころん」は  
高知県人権啓発センターの  
マスコットキャラクターです



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ

www.kochi-jinken.or.jp

【事務局】〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階  
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp  
【開所時間】月~金 8:30~17:15 (祝祭日・年末年始を除く)



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3~5分